

Developing a Comprehensive Approach to a NEA-NWFZ Workshop I

December 7 (Fri)–10 (Mon), 2012
Nagasaki & Tokyo



北東アジア非核兵器地帯の実現へ新しいアプローチの可能性
第1回 国際ワークショップ

2012年12月7日(金)～10日(月) 長崎・東京

COSPONSORS 共催団体



IN COOPERATION WITH 協力団体



12/7

Friday, December 7, 2012



10:15	Offering a Wreath of Flowers for A-bomb Victims (optional) 献花(任意)
10:30	Visiting the Nagasaki Atomic Bomb Museum (optional) 長崎原爆資料館見学(任意)
11:30-12:40	Preparatory Meeting with Interpreters with Lunch (1F, Pompe Hall, Sakamoto Campus, Nagasaki Univ.) 通訳との打ち合わせ。昼食。(長崎大学坂本キャンパス・ポンペ会館1階)
12:50-13:15	Meeting with President of Nagasaki Univ. 学長表敬
13:15-13:25	Registration 移動、登録
13:30-14:05	Opening 開会 (2F, Pompe Hall, Sakamoto Campus, Nagasaki Univ.) (長崎大学坂本キャンパス・ポンペ会館2階会議室) MODERATOR: Mariko Mine モデレーター：三野真璃子
13:30-13:40	OPENING ADDRESS: Shigeru Katamine 開会挨拶：片峰 成
13:40-14:05	INTRODUCTION: Hiromichi Umebayashi イントロダクション：梅本宏道 -“NEA-NWFZ Initiative: Need for a New Approach” 『北東アジア非核兵器地帯等構想：新しいアプローチの必要性』
14:05-15:30	Keynotes 基調講演 MODERATOR: Susumu Shirabe モデレーター：菅 崇
14:05-14:30	KEYNOTE 1: Morton H. Halperin 基調講演①：モートン・H. ハルペリン -“A Proposal for a Comprehensive Agreement on Peace and Security of NEA” 『北東アジアの平和と安全に関する包括的協定の提案』
14:30-14:55	KEYNOTE 2: Peter Hayes 基調講演②：ピーター・ヘイズ -“General Assessment of the DPRK Nuclear Situation” 『DPRK核問題の現状』
14:55-15:30	Q&A 質疑応答
15:30-16:00	Break 休憩
16:00-17:30	Session I: Perspectives for a Comprehensive Approach to a NEA-NWFZ セッションI：北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチに対する見解 MODERATOR: Satoshi Hirose モデレーター：広瀬 剛 Kiho Yi -“ROK Perspectives” 李 紀豪(イ・キホ)『韓国からの視点』 Guihong Zhang -“Chinese Perspectives” 張 貴洪(チャン・グイホン)『中国からの視点』 Kazumi Mizumoto -“Japanese Perspectives” 水本勘実『日本からの視点』 Randy Rydell -“Multilateral Perspectives” ランディ・ライデル『多国間協力の視点』
17:30-18:00	Preparatory Meeting with Interpreters (Public Sysposium Panelists and Moderators) 通訳との打ち合わせ(公開シンポジウムのパネリスト、モデレーター)
18:30-20:30	RECEPTION (Room Manaduru, Hotel New Nagasaki) レセプション(ホテルニュー長崎 真鶴の間)

12/
8

Saturday, December 8, 2012

**10:00-11:30 Session 2: Overarching Themes**

セッション2：横断的なテーマ

MODERATOR: Alyn Ware

モデレーター：アラン・ウェア

Masafumi Takubo

田塚 敏文

"Nuclear Fuel Cycle Issues -- ROK and Japan"

「日韓の核燃料サイクル問題」

Kazuhiko Tamaki

田中 一彦

"Missile Control in Northeast Asia"

「北東アジアにおけるミサイル管理」

Satoshi Hirose

広瀬 剛

"Regional Cooperation and Civil Society in Northeast Asia"

「北東アジアにおける地域協力と市民社会」

11:30-13:00 Taking a Collective Photo, and Lunch

写真撮影、昼食

13:00-13:50 Session 3: Issues on a NEA-NWFZ

セッション3：北東アジア非核兵器地帯をめぐる諸課題

MODERATOR: Mitsuru Kurosawa

モデレーター：黒澤 満

Keiko Nakamura

中村 綾子

"Lessons from Existing Nuclear Weapon-Free Zone Treaties"

「既存の非核兵器地帯条約からの教訓」

Alyn Ware

アラン・ウェア

"NEA-NWFZ and Extended Nuclear Deterrence"

「北東アジア非核兵器地帯と拡大核抑止」

13:50-14:30 Closing

総括セッション

MODERATOR: Hiromichi Umebayashi

モデレーター：梅村 弘通

Remarks by All Moderators and Speakers

各モデレーター、発言者から一言

15:00-17:00 International Public Symposium

公開国際シンポジウム

(4F Hall, New Building, Bunkyo Campus, Nagasaki Univ.)

(長崎大学文芸キャンパス・新棟4階ホール)

"Towards a NEA-NWFZ : Time for a New Approach"

「北東アジア非核兵器地帯の実現へ：新しいアプローチの可能性」

15:00-15:10 OPENING ADDRESS

主催者あいさつ

15:10-15:20 Hiromichi Umebayashi

梅村 弘通

"Need for a New Approach"

「新しいアプローチの必要性」

15:20-15:45 Morton H. Halperin

モートン・H. ハルペリン

"A Proposal for a Comprehensive Agreement"

「包括的協定の提案」

15:45-16:55 PANEL DISCUSSION

パネル・ディスカッション

MODERATOR: Keiko Nakamura

モデレーター：

中村 綾子

PANELISTS: Peter Hayes

ピーター・ヘイズ

Kiho Yi

李 起豪

Zhang Guihong

張 貴洪

Kazumi Mizumoto

水本和実

Randy Rydell

ランディ・ライデル

16:55-17:00 CLOSING REMARKS: Susumu Shirabe

閉会あいさつ：清 崇

12/
9

Sunday, Desember 9, 2012



9:00-10:30 Project Meeting (Room Hakucho, Hotel New Nagasaki)
プロジェクト会議(ホテルニュー長崎、白鳥の間)

Departure for Tokyo

東京へ移動

12/
10

Monday, Desember 10, 2012



15:45-17:00 Meetings with Vice Minister and other officials(Ministry of Foreign Affairs,Japan)
外務省副大臣などとの会合

18:00-20:00 International Public Symposium

公開国際シンポジウム
(Conference Room, Meiji Gakuin University)
(明治学院大学 白金校舎・本館 10 階大会議室)

"Toward a NEA-NWFZ — A Comprehensive Approach to the Regional Security"
「北東アジア非核兵器地帯へ—地域安全保障のための包括的アプローチ」

OPENING ADDRESS: Tetsuo Inami
開会挨拶: 稲見哲夫

OPENING ADDRESS: Susumu Shirabe
開会挨拶: 白根 崇

MODERATOR: Hiromichi Umebayashi
モデレーター: 梅林宏道

SPEAKERS: Morton H. Halperin
モートン・H. ハルペリン

Peter Hayes
ピーター・ヘイズ

Kiho Yi
李起華

Zhang Guihong
張貴洪

Randy Rydel
ランディ・ライデル

Alyn Ware
アリン・ウェア

Masayoshi Hamada
浜田昌良

CLOSING REMARKS: Meiji Gakuin University
閉会挨拶: 明治学院大学

共催団体 / Cosponsors

国立大学法人 長崎大学 / Nagasaki University

長崎大学 核兵器廃絶研究センター / Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University (RECNA)

核兵器廃絶長崎連絡協議会 / PCU Nagasaki Council for Nuclear Weapons Abolition (PCU-NC)

ノーチラス研究所 / Nautilus Institute for Security and Sustainability

協力団体 / In Cooperation with

広島市立大学 広島平和研究所 / Hiroshima Peace Institute, Hiroshima City University

韓信大学 (韓国) / Hanshin University

明治学院大学 / Meiji Gakuin University

復旦大学 (中国) / Fudan University

Contact:

Research Center for Nuclear Weapons Abolition

Tel. +81 95 819 2164

Email: nea_nwfz@ml.nagasaki-u.ac.jp

<http://recna.nagasaki-u.ac.jp/en-asia/>



1. ワークショップ・プログラム（6月20日）

北東アジアの安全保障を構想する： 北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチ 第2回国際ワークショップ

日時：2013年6月20日（木）9:00～17:00

場所：韓信大学

プログラム：

08:30 参加登録

09:00 開会挨拶：イ・キホ（韓信大学教授）

09:15 長崎でのワークショップⅠの報告：梅林宏道（RECNAセンター長）

09:30 第一セッション：

非核化は共通の安全保障の鍵

モデレーター：ムン・ジョンイン（延世大学教授）

基調講演：イム・ドンウォン元統一庁長官

パネル発言：各国からの見解

（各パネリストは、それぞれの国の視点から、南北朝鮮及び日本を含む北東アジア地域の非核化が地域の安全保障の鍵となるという考え方に対する見解を述べる。）

- 韓国：パク・スンソン（東国大学教授）
- DPRK：イ・ジョンチョル（崇実大学教授）
- 米国：ピーター・ヘイズ（ノーチラス研究所所長）
- 日本：水本和実（広島市立大学広島平和研究所）
- ロシア：ベク・ジュンキ（韓信大学教授）

10:40 休憩

11:00 討論

12:00 昼食

13:30 第2セッション：

平和と安全保障に関する包括的協定

モデレーター：ピーター・ヘイズ

基調講演：モートン・H・ハルペリン（オープン・ソサエティ財団上級顧問）

パネル発言

（各パネリストは、ハルペリン博士の提案する北東アジアの平和と安全保障に関する包括的協定案に対する見解を述べる。）

- クリストフ・ポールマン（FES Korea 代表）
- エンクサイハン・ジャルガルサイハン（モンゴル特命全権大使）
- アラン・ウェア（核軍縮・不拡散議員連盟（PNND）グローバル・コーディネーター）

討論

15:00 休憩

15:30 第3セッション：全体議論

モデレーター：イ・キホ、中村桂子（RECNA准教授）

休戦協定から平和協定へ

二国間/多国間協力を通じた相互信頼の構築及び強化

非核兵器地帯実現への可能な方途

（パネリストのいない自由討論のセッションであるが、主に3つのテーマについてそれぞれ短い発題があり、時間を区切った議論が行われる。）

17:00 閉会挨拶及びワークショップⅢへの提案：梅林宏道

17:40 休憩

18:00 レセプション

2. 韓国キーパーソンとの意見交換会（6月21日）

韓国の有力政治家、北朝鮮問題の専門記者、現政権アドバイザーとそれぞれ1時間半ずつの会合を持ち、北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチなどについての意見交換を行った。

主催側の参加者：

モートン・H・ハルペリン
J・エンクサイハン大使
ピーター・ヘイズ
ジョアン・ダイヤモンド
アラン・ウェア
イ・キホ
梅林宏道
調 漸
中村桂子

3. 市民社会フォーラム・プログラム（6月22日）

平和と安全保障を考える：北東アジアにおける「瀬戸際外交」を終わらせる

日時：2013年6月22日（土）10:00～13:00（昼食含む）

場所：参与連帯事務所会議室

共催：

韓信大学平和と公共性センター
核兵器廃絶長崎連絡協議会（PCU-NC）
長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）
アジア地域イニシャティブ（ARI）
NPO法人ピースデポ

（本フォーラムにおいては、20日の専門家ワークショップの参加者と韓国及び日本の市民社会との対話を促進し、北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチに関する理解を深めるとともに、同構想の推進に向けた両者の協力の在り方を模索することを目指す。）

プログラム：

09:45 参加登録

10:00 開会挨拶及び参加者の紹介

10:10 パネル討論（案）

モデレーター：イ・キホ

- 1) 北朝鮮の核危機をいかに解決に導くか
モートン・H・ハルペリン（オープン・ソサエティ財団上級顧問）
- 2) 抑止から協力へ：東アジアに平和をもたらす3つのビジョン
イ・テホ（参与連帯事務局長）
- 3) 日本 NGO の見解と日韓 NGO の協力の可能性
湯浅一郎（ピースデポ代表）
- 4) 北東アジアの安全保障へのオルタナティブの必要性：ウランバートル・プロセス
J・エンクサイハン（モンゴル特命全権大使）

11:00 討論

11:50 休憩

12:10 昼食及び討論

13:00 閉会

Denuclearization of Northeast Asia and of the World

— Developing a Comprehensive Approach
to NEA-NWFZ: Workshop III

September 14 (Sun) -16 (Tue) , 2014

Tokyo



北東アジアの非核化と世界の非核化
—北東アジア非核兵器地帯への包括的アプローチ・ワークショップⅢ
2014年9月14日(日)～16日(火) 東京



CONTENTS/ 目次

- ・ PROGRAM in English (英語プログラム) p. 3-6
 - ・ PROGRAM in Japanese (日本語プログラム) p. 7-10
-

Hosted by/ 主催

Nagasaki University/ 長崎大学
Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University /
長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA)

Co-sponsored by/ 共催

PCU Nagasaki Council for Nuclear Weapons Abolition (PCU-NC: Council comprised of Nagasaki Prefecture, City and University) / 核兵器廃絶長崎連絡協議会
Nautilus Institute for Security and Sustainability/ ノーチラス研究所
Center for Peace and Public Integrity, Hanshin University, ROK/ 韓信大学平和と公共性センター (韓国)
Institute of International Studies, Fudan University, PRC/ 復旦大学国際問題研究所 (中国)
Center for the Promotion of Disarmament and Non-Proliferation (CPDNP) / 日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター
Hiroshima Peace Institute (HPI), Hiroshima City University / 広島市立大学広島平和研究所
International Peace Research Institute, Meiji Gakuin University (PRIME) / 明治学院大学国際平和研究所
Blue Banner, Mongolia / ブルーバナー (モンゴル)
Parliamentarians for Nuclear Non-proliferation and Disarmament (PNND) / 核軍縮不拡散議員連盟 (PNND)

In Cooperation with/ 後援

Ministry of Foreign Affairs, Japan/ 外務省
Nagasaki City/ 長崎市
Hiroshima City/ 広島市
Hiroshima Peace Culture Foundation/ 広島平和文化センター
United Nations Information Centre/ 国連広報センター



The Logo represents a deformed Chinese character "出", which means "exit" or "departure". Here it symbolizes the "exit" from the nuclear deterrence and "departure" for a Northeast Asia Nuclear Weapon-Free Zone. Nagasaki is famous for its port "Dejima" or Exit Island, the only port open to overseas during the period of national isolation in Japanese history.

本ロゴは、漢字の「出」をデザイン化したものである。鎖国時代の日本で唯一開かれていた港である長崎の「出島」をイメージし、核抑止から「出」て、北東アジア非核兵器地帯へと「出発」しよう、という意味が込められている。

9/14

2014年9月14日(日) (会場: グランドプリンスホテル新高輪)



14:30-15:30 記者会見 (会場 国際館パミール「白玉」)

15:30-16:00 参加者受付 (会場 グランドプリンスホテル新高輪「天平」)

16:00-16:10 趣旨説明 梅林宏道

16:10-17:40 セッション 1: グローバルな非核化と北東アジア

2015 年 NPT 再検討会議をまえに、核兵器使用の非人道性を根拠に核兵器の法的禁止を求める主張と、法的議論を時期尚早とする段階論との間の見解の違いが目立っている。その中で拡大核抑止に依存している非保有国の政策動向の重みが増加している。本セッションでは、グローバルな核軍縮が直面する諸問題と、それとの関係における北東アジアの平和と安全保障における核問題を論じ、北東アジア非核兵器地帯の設立の意義を考える。

座長: 佐藤行雄

発言者: ヘザー・ウィリアムズ

「グローバルな核軍縮と非核兵器国の役割」

ヴァレール・マンテルス

「北東アジアにおける拡大抑止と非核兵器地帯」

アレクサンダー・ニキーチン

「北東アジアの非核化とロシアの政策」

討論者: 美根慶樹

高原孝生

18:00-20:30 デイナー・セッション (会場 グランドプリンスホテル新高輪「平安」)

座長: 片峰 茂

基調講演: ジャヤンタ・ダナパラ

「北東アジアの非核化と世界の非核化」

発言・挨拶: 自由民主党議員(予定)

山口那津男

岡田克也

メッセージ: エドワード・マーキー(調整中)

田上富久

9/15

2014年9月15日(月) (会場: 明治学院大学白金キャンパス 2号館 2401)



9:00-10:30

セッション2 北東アジアにおける包括的平和安全保障協定

朝鮮半島の非核化をテーマに続けられてきた様々な努力の行き詰まりを克服する外交プロセスの一案として、ハルペリン氏は、2011年、「北東アジアにおける包括的平和安全保障協定」の構想を提案した。それは、北東アジア非核兵器地帯の設立を目標として、密接に関係する懸案をパッケージとして解決する外交プロセスの構想である。最近の情勢を踏まえたうえで同提案について議論する。

座長: 阿部信泰

発言者: モートン・H・ハルペリン

「北東アジアにおける包括的安全保障協定」

黒澤 満

「アップデートされた協定に対する見解」

討論者: 徐輔赫

アレクサンダー・ニキーチン

野口 泰

11:00-12:30

セッション3: 背景にある北東アジアの安全保障環境

本セッションでは、セッション2で議論された包括的協定の背景にある北東アジアの安全保障環境を概観し、そのような包括的アプローチの改善に資する観点から考察するとともに、包括的協定の追求や実現が地域の安全保障環境にどのような変化をもたらすかについても議論する。

座長: 文正仁

発言者: 沈丁立

「北東アジア非核兵器地帯への中国の視点」

白鶴淳

「北東アジアの安全保障環境と6か国協議の展望: 韓国の視点」

具甲祐

「北朝鮮の核抑止への心理学的アプローチ: 金正恩体制における核論議」

討論者: 戸崎洋史

李起豪

14:00－15:30	セッション 4: 包括的協定の具体的検討 本セッションでは、包括的協定に盛り込まれる個々の要素について、より理解を深める。それぞれの要素に関して予想される困難を考察し、その克服のために考慮されるべき措置について議論する。 座長: 秋山信将 発言者: ピーター・ヘイズ 「米朝の敵対を超える: 北東アジアの安全保障問題の包括的な解決と朝鮮戦争終結の間の欠けた輪」 鈴木達治郎 「北東アジアの包括的安全保障協定におけるエネルギーと核協力」 中村桂子 「制裁の現状と包括的協定への道程」 討論者: 朴淳成 倉田秀也
16:00－17:30	セッション 5: 北東アジア非核化へのさまざまな担い手 本セッションでは、包括的協定や非核兵器地帯の実現に向けて、政府、議会と議員、市民社会など、さまざまなアクターがどのような役割を担うことができるかについて議論する。 座長: 李起豪 発言者: J・エンクサイハン 「モンゴルの非核兵器地位: その地域的意義」 アラン・ウェア 「国会議員の役割」 朝長万左男 「市民社会の役割」 討論者: 徐輔赫 田巻一彦 広瀬 訓 洪翼杓
17:30－17:40	閉会の言葉: 調 漸

9/16

2014年9月16日(火)

関連イベント



9:30-11:00

日韓研究者コーカス(ワークショップ出席者の参加は任意)

【会場 グランドプリンスホテル高輪「鈴蘭」】

モデレーター: 朴 淳成、広瀬 訓

13:30-15:00

PNND 日本・議員フォーラム (ワークショップ出席者の参加は任意)

【会場:衆議院第一議員会館 第2会議室】

発言者:モートン・H・ハルペリン

李美卿

李塚益

洪翼杓

15:00-15:50

外務省訪問 大臣表敬と政務官など(一部参加者のみ)

18:30-20:00

NGOフォーラム (ワークショップ出席者の参加は任意)

【会場:明治学院大学・白金キャンパス2号館2401教室】

発言者:モートン・H・ハルペリン

徐 輔赫

梅林宏道

Contact: RECNA (Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University)

Tel: +81 95 819 2164

Web: <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/en-top/>

Mail: recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp